

第 45 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

- と き：令和 3 年 4 月 14 日（水曜日）19 時 00 分から 19 時 55 分まで
- ところ：大阪府新別館南館 8 階 大研修室
- 出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・福祉部長・健康医療部長・ワクチン接種推進監・商工労働部長・教育長・府警本部警備部長・大阪市健康局首席医務監

【会議資料】

会議次第

- 資料 1－1 現在の感染状況について
- 資料 1－2 変異株の発生状況について
- 資料 1－3 現在の療養状況について
- 資料 1－4 療養者数のシミュレーションについて
- 資料 1－5 感染状況や医療提供体制の状況について
- 資料 1－6 宿泊療養施設の確保について
- 資料 1－7 滞在人口の推移
- 資料 1－8 感染に強い飲食店に向けた「見回り隊」について（昼間の見回り調査）
- 資料 1－9 営業時間短縮要請の実効性確保に向けた「見回り隊（20 時以降）」について
- 資料 1－10 繁華街（大阪市内）における外出自粛の呼びかけ
- 資料 2－1 まん延防止等重点措置を実施すべき区域における要請
- 資料 2－2 （参考）まん延防止等重点措置を実施すべき区域における要請 新旧対照表
- 資料 2－3 レッドステージ 2 における府立学校の今後の教育活動等について
- 資料 2－4 専門家のご意見

【知事】

- ・皆さんお疲れ様です。現在の大阪の感染状況ですけれども、昨日の陽性者数が 1000 人を超えるという状況で、感染拡大が続いており、厳しい状況にあります。
- ・あわせて、変異株は重症化率が高い。重症化する速度も速いということで重症病床の逼迫、医療の逼迫が非常に厳しい状況になっています。現在、まん延防止措置のお願いをし、また、医療非常事態宣言を出して、府民の皆さんに、とにかく不要不急の外出をやめて、家にいてくださいというお願いをしています。
- ・また、府域を越える移動についても自粛をお願いしており、今後さらに徹底して働きかけをしていきます。また、20 時までの時短要請を飲食店にしているところでもあります。
- ・この後の分析でも出てきますが、まん延防止措置の前と比べて 20% ぐらい夜の人出は下がっているというデータが出ていますが、ここは徹底していく必要があると思っています。
- ・見回り隊についても、当初 40 名でスタートしましたが、現在は 300 名で、今、大阪市内を見回ってくれているという状況です。あわせて、夜 8 時以降も時短要請に応じていただけないお店につ

いては100名体制で警察とも協働しながら、見回りをしています。ここも徹底して、強化してやっていく必要があると思います。

- ・あわせて、明日からですけれども、夜の繁華街において、外出自粛の呼びかけをします。これも、府市と警察と連携しながら徹底して人流を減らしていく、呼びかけをするということを、愚直に徹底的にやっていきたいと思います。
- ・そして、感染の状況を見ましても、特に若い方について、重症化だけではなくて、感染が増えているという状況です。学生の皆さんの、陽性者全体に占める割合が10%になっており、高い数字を示しています。
- ・これは変異株の影響があらうかと思います。まだ重症化しているということはないんですけれども、まだ今後どうなるかわかりません。そして若い、特に学生さんの世代で、もし学校で広がると、無症状や軽症で広がるということがあれば、これは子どもを感染から守るということだけではなくて、家庭に持ち帰ったら、家庭内感染でお父さんお母さんおじいちゃんおばあちゃんに広がってくるということはほぼ間違いないということになっています。
- ・こういったことを踏まえ、変異株にも応じた対応策も強化していかなければならないと思っています。
- ・このあたりについて本日の本部会議で決定していきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

※資料1-1に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-2に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-3に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-4に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-5に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-6に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-7に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-8に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-9に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-10に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-2に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-3に基づいて、教育長より説明。

※資料2-4に基づいて、健康医療部長より説明。

【山口副知事】

- ・もう少し詳しく教えて欲しいのですけれども、【資料1-3】8ページの療養状況のところ、若い世代がかなり増えているというデータが出ていて、一目瞭然なんですけれども、若い世代の重症化率というのが、前回と比べてどう変化しているのか、また、どういう重症の状態が今までの高齢の方と状態が違うのか、今の実情がどうなっているのかを説明していただければありがたい。

【健康医療部長】

- ・第三波まででは、主に重症化される方は60代以上の方、もしくは基礎疾患がある方というのが、行政側から見たデータ上でも、傾向としてほぼ言えることでした。
- ・ただ、第四波に入ってから、これまで重症化されなかった40代、50代の方、ときには20代、30代の方を含めて肺の状態が悪くなり、重症化し、気管挿管が必要な方というのが、20代、30代の方含めて日に数例出ております。
- ・その場合、もう一点の特徴としまして、まだ軽症化されていないので、軽症化されるまでの日数のデータのカウントがされておられません。
- ・軽症化される方、いわゆる呼吸器を外せる状態になられる方がまだ少ないということで、呼吸器を付けてから若い方だけけれども、軽症化される事例が積み上がらないという、これは今のデータ上もそうですし、医療機関からも強くそういう声が出ています。

【山口副知事】

- ・若い方で重症化すると、なかなか治るのがかなり期間を要するのではないかという危惧が相当あるということなのですね。

【健康医療部長】

- ・そうですね。それが若い方だからなのか、あるいはウイルスの変化による影響の差なのかというのは、専門家のご意見で、もう少しデータが積み上がって、重症化された方について分析する必要があると思います。必ずしも若い方でも、基礎疾患がない方でも、重症化される事例もございます。

【山野副知事】

- ・今の件に関連して、資料にはないのですが、第三波と第四波を比較して、重症化が低年齢化しているということなのでしょうか。
- ・また、基礎疾患があるかどうか、重症化にどう影響を及ぼしているかを教えていただければと思います。
- ・第三波は、基礎疾患がある方が非常に重症化しやすいということですが、今のお話ですと、第四波では、基礎疾患がなくても、重症化しやすいという形になっていますね。

【健康医療部長】

- ・第三波の途中まで、例えば免疫系の基礎疾患、呼吸器系の基礎疾患等をお持ちの方など、基礎疾患によつての重症化率を分析しております。
- ・今後、基礎疾患のあるなしと、こういったリスクの方の重症化率が高いのかというのを、もう少し事例が積み上がりましたら、分析したいと考えています。

【山野副知事】

- ・わかりました。

【田中副知事】

- ・資料1－8の見回り隊について教えていただきたいのですが、アクリル板の設置やCO2センサーが4割から6割ぐらいの状況なのですが、いろいろ見回って調べた結果、設置に向けて準備中というところはかなりあるのかどうか、聞けていれば教えていただきたいんですが。

【危機管理監】

- ・アクリル板は、例えば焼肉屋さんですとか、店によってはそもそもアクリル板をつけられないところもありますが、まだ入手できないので、入手したらやりたいという店はございます。
- ・CO2センサーにつきましても、やはり入手が困難ということを言われていますが、前回の対策本部会議資料から比べても、CO2センサーの設置率が上がっていますので、徐々に入手していただいているというところではあります。
- ・いずれにしても、今はなくても、入手したいという声は聞いております。

【知事】

- ・重症病床の確保が非常に重要になると思いますので、現在も進行中ですが、重症病床の確保に向けて、全庁を挙げて、さらに力を入れて取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。
- ・いろんな形での病院の協力、重症患者受入病院だけではなく、重症病床を増やしていくためには、中等症や軽症、あるいはその後方支援など、様々な関係の方のご協力があることで初めて、重症病床が充実してきます。
- ・今でもかなり限界に近い数を確保しておりますが、全庁を挙げて重症病床の確保にさらに取り組んでいきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をよろしくお願ひします。
- ・今回、大学、小学校、中学校、高等学校等について、新しい感染防止策をとるということで、明確にしておきたいと思うのですが、資料1－1の11ページ見ると、10代と10代未満の全体に占める陽性者の割合は、変異株の影響がほぼ少ないと思われる第三波であれば、足して10%程度。
- ・一方、変異株については、10代と10代未満を足すと20%ぐらいになり、約2倍となる。
- ・10代、10代未満、小中学生や高校生も含めて、そこにどうも変異株は広がりやすいという理解でまず間違いはないってことでいいんですかね。

【健康医療部長】

- ・明らかにそういう傾向になっています。

【知事】

- ・今まで、学校で親から感染した子どもが判明して、休校という一方通行の場面が多かったんですが、学校の中での対策はこれまでもきっちりとってきてはいますが、より強化する必要があると思うんですけど、この辺りはどう判断していますか。

- ・資料1-1の13ページに、感染経路不明について、新しいグラフをつけてくれていますが、健康医療部の分析はどのような考え方ですか。

【健康医療部】

- ・資料1-1の13ページを見ていただいても、特に小学生で家庭内感染の率が下がっています。
- ・これまで、小学生の方は、家庭内での感染事例がほとんどでしたが、経路不明のお子さんや、家庭外からの感染、グループでの感染事例が出ています。
- ・これは、日々感染事例見ている中でも、第三波までは観察されなかったことです。

【知事】

- ・つまり、子ども同士で感染している可能性もあるんじゃないかということですか。

【健康医療部】

- ・そうですね。必ずしも親御さんが家庭に持ち込んで、子どもさんが家庭内感染するということだけでは、もう語れなくなっているということです。

【知事】

- ・先ほど教育長からもありましたように、春休み中の部活動で感染が見受けられた例が複数あるということですが、時期は春休み中なんですか。
- ・変異株が広がってきているのは、3月中ぐらいだと思うんですけど、こういったエピソードで、どういう事例が多く見受けられているのでしょうか。

【教育長】

- ・これまで学校関係で、昨年度を含めて、クラスターが25件発生していますが、3月の中旬以降は、クラスターが5件発生しています。いずれも、クラブ関係ということになっております。
- ・1月の緊急事態宣言のときも、クラスターが8件発生しているんですが、この大部分がクラブ活動ということになっております。
- ・ただ、3月中旬以降、急にバタバタと出てきたということがありますし、クラスター1つあたりの人数が多いということで、クラブ活動の制限について、4月1日にお願いしたということです。
- ・先ほど健康医療部長から、3月後半以降、家庭内感染以外での、感染経路不明者の割合が増加したというご説明がありましたが、教育委員会の方でも、健康医療部からいろいろ情報をいただきまして、新規の感染状況を見ております。
- ・感染経路不明なんですけど、依然としてやはりクラブ活動のクラスター以外は、個発例が多い。
- ・学校で1人、あるいは2人程度の個発例が多いということで、4月8日から新学期が始まっておりますので、学校活動の影響がもし出てくるとすれば、今後ということになりますので、それは十分注視していきたいと思っています。
- ・それから、3月後半以降、感染経路不明の割合が増加したというのは、むしろ春休みになって子ども

たちの活動範囲がいろいろ広がった結果ではないかと見ております。

【知事】

- ・4月8日から学校が始まったわけですが、変異株について、大阪・兵庫で非常に出ており、先行して分析の対象になるわけですが、まだまだ事例というのは少ない。だから警戒度を高める必要があると思っています。
- ・変異株が広がってから、学校が始まるというのは今回が初めて。
- ・1月は緊急事態宣言の中で、非常に警戒されていた。今回、英国型の変異株が割合としても急激に増えてきている中で学校が始まったということですから、子どもの中で広がらなければそれでいいと思うのですが、広がる可能性もやっぱり考えなければならぬ。変異株の影響の可能性も考えなければならぬと思っています。
- ・そうなってくると、春休でもエピソードクラスターが発生している部活動については、このまん延防止の期間中については、原則中止・休止と要請をしたいと思っています。
- ・ただ、部活動でどうしても公式大会の出場であったり、自分の人生に関わる生徒もいる。非常に重要な活動として、重要な位置づけの中でやっている生徒さんもいらっしゃるんで、そういった場合は、個別に学校の判断が必要であると判断した場合は、感染対策を徹底した上で、活動時間を短縮して実施するというようにしたいと思っています。
- ・一方で、変異株が子どもたちに広がる影響というのが未知数なところがあるので、このまん延防止期間中においては、原則として休止をお願いしたいと思っています。
- ・それから、そういう状況でもありますので、通常の授業については、マスクをして授業を受けるわけですから、ここにある通り、音楽の近距離で行う合唱とか、体育で非常に接触がある運動とかを除けば、教室での活動でそこまで感染が広がるということはないだろうと思っています。教育は非常に重要ですから、通常の授業を行うということにしたいと思っています。
- ・一方で、今大阪で1000人を超えるという、大きな感染拡大期でもあります。
- ・保護者、子どもたちの中には、感染拡大期においては、登校を控えたいという保護者もいると思いますから、そういう判断をした場合にはそれを認めていくとこういうことで、ぜひお願いしたいと思っています。
- ・その場合の代替措置として、オンラインの進捗は市町村でもいろいろ形も違いますし、状況も違うと思っています。大阪府においても、昨年なんとか不十分ながらもオンライン授業、自分の端末なども使いながら、経済的に厳しい子どもへは、端末の貸し出しも含め、準備をしてきましたので、その中でオンラインを活用して、学習支援をやってまいりたいと思っています。
- ・このあたりについて、どうですか。現状とオンラインを活用するといっても、市町村によって状況も違うし、どのぐらい活用できるのか。状況を教えてもらえますか。

【教育長】

- ・小中学校につきましては、3月末までに1人1台の端末は購入できていると聞いております。
- ・ただそれがすぐ使える状態かどうかは市町村によって違いがあります。昨年の実績で申し上げますと、同時双方向型でオンラインを活用して学習支援をした市町村が19あると聞いております。
- ・一方通行、授業をライブ配信した市町村は6。録画をして配信した市町村が14あると報告を受けております。
- ・昨年にそのような経験があり、端末も1人1台が配備されておりますので、一層の活用をしていただくように、市町村にはお願いをしていきたいと思っております。
- ・府立高校につきましては、1人1台の端末を購入できるのが、早くても本年の秋ですので、現時点では、基本的には生徒さんが持っておられる端末を活用したオンラインによる支援ということにならざるを得ないと思っております。昨年いわゆる学習支援ソフト等を活用して、同時双方向型で実施した学校が16校ございます。オンデマンド・一方通行で、実施した学校が16校ございます。
- ・基本的には、府立高校につきましては、感染した生徒あるいは濃厚接触者で2週間学校に登校できない生徒の支援のためにこういったものを利用してありまして、一気に多人数がオンラインで実施するための整備が進んでおりませんが、昨年の経験も踏まえて、今年度さらに積極的に、生徒からそういう要請があれば、弾力的に対応し、できるだけソフトを活用し、その子がとり残されないような支援をしっかりとやっていくように指示をしていきたいというふうに思っております。

【知事】

- ・昨年感染が広がったときに、将来に備えてということで、高校においても100%じゃないにしても、オンラインを活用できるようにしようというので、様々、周辺環境を整理したと思うんですけど、確か、1人1アカウント、Googleの仕組みで、そこは完了していたと思うんですけどどうなのですか。

【教育長】

- ・先ほど説明しませんでしたけども、オンラインで課題などを配信するGSuiteというGoogleのソフトを全校で導入しております。
- ・それを使って、動画配信じゃありませんが、課題等を配信をし、同じ場で採点・指導したりする、そういう取り組みは全校でできるようになっております。

【知事】

- ・経済的に厳しい子どもたちへの端末の貸し出しの準備をしたと思うんですが、何個ぐらい準備してますか。

【教育長】

- ・モバイルルーターを2000台確保しています。

【知事】

- ・2000台、モバイルルーターがあるということで、経済的に厳しい子どもへは、今回貸し出しをして、せっかくこれまでオンラインにおける小中高における環境を整えてきたわけなので、まさに使うべき時

期って今しかないというぐらいの時期だと思いますから、できるだけ積極的に活用して、どうしても登校はしませんという生徒に対しては、学習支援をしっかりと行ってもらいたいと思うので、府立高校もそうですし、市町村にも通知をしっかりとってもらいたいと思うのでよろしくお願いします。

- ・もう一つ、欠席扱いにはしない、つまりこういう状況なので、まん延防止期間中、感染急拡大時期は家で勉強、リスクから離れたところで生活するということは、一つの判断だと思うが、そのときに不利益を生じさせてはいけないと思います。欠席扱いしないというのはどういうことになるのですか。どういうジャンル、欠席ではなくなるってことですか。

【教育長】

- ・学校に出てくる子と同じ扱いするということです。

【知事】

- ・そういった児童・生徒にその不利益な扱いにならないように、対応をお願いしたいと思います。
- ・大学については、今までもオンラインのこともあったりして、学校に通うことで非常に喜びを感じている生徒さんがいる中で、非常に申し訳ない気持ちもあるのですが、ただ今この感染状況ですから、オンライン授業を原則とさせてもらいたいと思いますし、それをぜひ要請をしていきたいと思えます。
- ・まん延防止の期間中にそれをやるということで、部活の自粛も含めて要請をよろしくお願いいたします。

【危機管理監】

- ・了解いたしました。

【知事】

- ・あとは、修学旅行等が中止・延期になるところについては、キャンセル料等についての不利益がないように支援制度をしっかりと予算をつけていきますから、よろしくお願いします。
- ・大学のお願いについては、文科省との調整は進めるということでいいんですか。

【危機管理監】

- ・文科省と調整させていただいてこのような形にさせていただいています。

【知事】

- ・経済界ですけども、やはり人手をできるだけ減らすということで、テレワークを今までお願いしていますが、これも改めて徹底していきたいと思いますので、関係部署においてはそれぞれの団体に、改めて通知、要請をお願いしてもらいたいと思います。

【危機管理監】

- ・了解です。

以上